

2 選択肢回答における集計結果

「がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査」調査票（補遺 6 参照）にそって、集計結果についてまとめる（問 7 自由回答欄を除く）。

問1 がんと診断されたのはいつですか。（年代別）

診断年齢	実数	(%)
1. 20代	110	(1.4%)
2. 30代	435	(5.6%)
3. 40代	1,184	(15.1%)
4. 50代	2,036	(26.0%)
5. 60代	2,369	(30.2%)
6. 70代	1,427	(18.2%)
7. 80代	125	(1.6%)
8. 90代	4	(0.1%)
無回答	147	(1.9%)
計	7,837	(100.0%)

がんが高齢者の病気であることを反映し、40歳以上が91.2%、一番多いのは60代である。

問2 その時、何のがんと診断されましたか。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

部位	実数	(%)
1. 脳	4	(0.1%)
2. 咽頭・喉頭	271	(3.5%)
3. 肺	749	(9.6%)
4. 食道	230	(2.9%)
5. 胃	1,046	(13.3%)
6. 十二指腸・小腸	35	(0.4%)
7. 大腸・直腸	1,055	(13.5%)
8. 肝臓	255	(3.3%)
9. 胆道・胆のう	87	(1.1%)
10. すい臓	102	(1.3%)
11. 腎臓・副腎	76	(1.0%)
12. 膀胱	120	(1.5%)
13. 皮膚	29	(0.4%)
14. 口腔・舌	100	(1.3%)
15. 子宮	498	(6.4%)
16. 卵巣・卵管	156	(2.0%)
17. 乳房	1,904	(24.3%)
18. 前立腺	302	(3.9%)
19. 精巣	14	(0.2%)
20. 甲状腺	90	(1.1%)
21. 白血病	162	(2.1%)
22. 骨髄腫	32	(0.4%)
23. 骨	8	(0.1%)
24. 軟部組織系(筋肉・脂肪)	30	(0.4%)
25. リンパ腫	197	(2.5%)
26. その他	102	(1.3%)
無回答	183	(2.3%)
計	7,837	(100.0%)

多い順に並べると、乳房、大腸・直腸、胃、肺、子宮、前立腺、咽頭・喉頭となる。対象が外来受診者であるため、がんにかかる人の数よりは、現在、社会で暮らすがん体験者の数に類似したパターンである。

問3 その後、現在までに担当医に再発(転移)が認められると言われましたか。

再発・転移	実数	(%)
1. はい	1,852	(23.6%)
2. いいえ	5,744	(73.3%)
無回答	241	(3.1%)
計	7,837	(100.0%)

全体の1/4に再発・転移が認められる。再発・転移が認められないものには、治療後、経過観察中の患者や治療後、5~10年以上を経過し、ほぼ治癒と見なされる患者が含まれる。一部、再発・転移の告知がなされていない患者が含まれている可能性がある。

付問 3-1 再発(転移)が認められた部位等のすべてに○をつけてください。(複数回答)

再発・転移の部位	人数=1,852	
	実数	(%)
1. 脳・髄膜	85	(4.6%)
2. 咽頭・喉頭	45	(2.4%)
3. 肺・胸膜	498	(26.9%)
4. 食道	24	(1.3%)
5. 胃	88	(4.8%)
6. 十二指腸・小腸	21	(1.1%)
7. 大腸・直腸	149	(8.0%)
8. 肝臓	455	(24.6%)
9. 胆道・胆のう	16	(0.9%)
10. すい臓	26	(1.4%)
11. 腎臓・副腎	42	(2.3%)
12. 膀胱	68	(3.7%)
13. 皮膚	27	(1.5%)
14. 口腔・舌	11	(0.6%)
15. 子宮	31	(1.7%)
16. 卵巣・卵管	36	(1.9%)
17. 乳房	120	(6.5%)
18. 前立腺	41	(2.2%)
19. 精巣	0	—
20. 甲状腺	18	(1.0%)
21. 骨髄	32	(1.7%)
22. リンパ節(腺)	433	(23.4%)
23. 骨	271	(14.6%)
24. 軟部組織系(筋肉・脂肪)	15	(0.8%)
25. 脊髄	29	(1.6%)
26. 腹膜	46	(2.5%)
27. 心膜・心臓	2	(0.1%)
28. その他	60	(3.2%)
無回答	26	(1.4%)

多い順に並べると、肺・胸膜、肝臓、リンパ節(腺)、骨となっているが、これは固形がんの転移部位である。

問4 現在の治療の状況について、当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

治療の状況	実数	(%)
1. 治療継続中	2,820	(36.0%)
2. 定期的な検査通院中	4,758	(60.7%)
3. その他	135	(1.7%)
無回答	124	(1.6%)
計	7,837	(100.0%)

問3の再発・転移の割合を反映した結果である。

問5 現在までに、医療機関で受けられた治療について、当てはまるものすべてに○をつけてください。
(複数回答)

治療	人数=7,837	
	実数	(%)
1. 外科手術	6,013	(76.7%)
2. 内視鏡・胸腔鏡・腹腔鏡手術	1,968	(25.1%)
3. 薬物療法(抗がん剤・ホルモン剤等)	4,601	(58.7%)
4. 放射線治療	2,374	(30.3%)
5. その他	121	(1.5%)
無回答	171	(2.2%)

内視鏡・胸腔鏡・腹腔鏡手術の割合が大きい点は、最近の治療の進歩を反映している。

問6 現在の、あなたの日常生活の状況にもっとも近いものに1つ○をつけてください。

日常生活の状況	実数	(%)
1. 特に症状はなく社会活動ができ、病 気や治療による制限を受けることな く、がんにかかる前と同じように行動 できる	4,412	(56.3%)
2. 軽い症状があり、からだを使う仕事 (肉体労働)は制限されるが、歩くこと や軽作業・坐業(家事・事務など)は 行える	2,649	(33.8%)
3. 歩くことや身の回りのことはできる が、時々少し人の助けがいることも ある。軽作業はできないが、日中の 半分以上は起きている	412	(5.3%)
4. 身の回りのある程度のことはできる が、しばしば人の助けが必要で、日 中の半分以上は横になっている	188	(2.4%)
5. 身の回りのこともできず、常に人の 助けが必要で、一日中横になっている	16	(0.2%)
無回答	160	(2.0%)
計	7,837	(100.0%)

回答者の対象が通院中のがん患者であるため、大部分が特に症状がなく罹患前と同じように行動できる、あるいは軽い症状があるが軽作業は行えるという状態である。

問7 どのようなことを悩まれましたか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

悩みの種類	人数=7,837	
	実数	(%)
1. 痛み・副作用、後遺症などの身体的な 苦痛	3,770	(48.1%)
2. 落ち込みや不安や恐怖などの精神的な こと	4,144	(52.9%)
3. 夫婦間、子どもとの関係などの家庭・家 族のこと	2,277	(29.1%)
4. 仕事、地位、人間関係などの社会との かわり	1,608	(20.5%)
5. 医師や看護師等とのかわり	628	(8.0%)
6. 収入、治療費、将来への蓄えなどの経 済的なこと	2,752	(35.1%)
7. これからの生き方、生きる意味などに 関すること	2,949	(37.6%)
8. その他	180	(2.3%)
無回答	873	(11.1%)

自由回答欄に記載された内容との比較が必要であるが、身体的、精神的、社会的、医療関係者との関係など、さまざまな悩みがまんべんなくあげられている。

問8 問7のそれぞれの時点における悩みへの対応として、誰かに相談しようと考えられましたか。時点ごとに、どちらか当てはまる番号に○をつけてください。

【a 診断された頃】

相談の有無	実数	(%)
1. 誰にも相談しなかった	1,570	(20.0%)
2. 相談しようとした、もしくは相談した	5,036	(64.3%)
無回答	1,231	(15.7%)
計	7,837	(100.0%)

問9 問8で「2 相談しようとした、もしくは相談した」にひとつでも○をつけた方は、下に示す状況に当てはまるその相手の方やその機関を下表よりすべて選び、それぞれその番号や記号を記入してください（複数可）。

人数=5,036

	悩みが軽減した		悩みが軽減しなかった		相談にのってくれなかった	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
1. 家族	2,976	(59.1%)	579	(11.5%)	11	(0.2%)
2. 友人・知人	1,138	(22.6%)	193	(3.8%)	5	(0.1%)
3. 親戚の人	817	(16.2%)	144	(2.9%)	4	(0.1%)
4. 上司・同僚	272	(5.4%)	54	(1.1%)	5	(0.1%)
5. 入院中に知り合った同病者	487	(9.7%)	53	(1.1%)	1	(0.0%)
6. 患者会・自助グループ	120	(2.4%)	17	(0.3%)	0	—
7. 担当医	1,288	(25.6%)	156	(3.1%)	9	(0.2%)
8. 看護師(看護婦)	331	(6.6%)	49	(1.0%)	3	(0.1%)
9. その他の人	111	(2.2%)	7	(0.1%)	1	(0.0%)
a. 病院の相談室など	49	(1.0%)	12	(0.2%)	1	(0.0%)
b. 県や市町村の相談窓口	24	(0.5%)	6	(0.1%)	2	(0.0%)
c. その他の機関	39	(0.8%)	10	(0.2%)	1	(0.0%)
無回答	878	(17.4%)	878	(17.4%)	878	(17.4%)

	相談できなかった		相手を見つけれなかった	
	実数	(%)	実数	(%)
1. 家族	18	(0.4%)	7	(0.1%)
2. 友人・知人	27	(0.5%)	4	(0.1%)
3. 親戚の人	15	(0.3%)	5	(0.1%)
4. 上司・同僚	8	(0.2%)	2	(0.0%)
5. 入院中に知り合った同病者	4	(0.1%)	5	(0.1%)
6. 患者会・自助グループ	7	(0.1%)	9	(0.2%)
7. 担当医	24	(0.5%)	4	(0.1%)
8. 看護師(看護婦)	5	(0.1%)	0	—
9. その他の人	1	(0.0%)	4	(0.1%)
a. 病院の相談室など	4	(0.1%)	3	(0.1%)
b. 県や市町村の相談窓口	4	(0.1%)	7	(0.1%)
c. その他の機関	2	(0.0%)	6	(0.1%)
無回答	878	(17.4%)	878	(17.4%)

【b 診断から現在に至るまでの間】

相談の有無	実数	(%)
1. 誰にも相談しなかった	1,099	(14.0%)
2. 相談しようとした、もしくは相談した	4,266	(54.4%)
無回答	2,472	(31.5%)
計	7,837	(100.0%)

人数=4,266

	悩みが軽減した		悩みが軽減しなかった		相談にのってくれなかった	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
1. 家族	2,279	(53.4%)	296	(6.9%)	6	(0.1%)
2. 友人・知人	1,076	(25.2%)	127	(3.0%)	2	(0.0%)
3. 親戚の人	653	(15.3%)	79	(1.9%)	4	(0.1%)
4. 上司・同僚	212	(5.0%)	35	(0.8%)	2	(0.0%)
5. 入院中に知り合った同病者	876	(20.5%)	74	(1.7%)	1	(0.0%)
6. 患者会・自助グループ	257	(6.0%)	18	(0.4%)	1	(0.0%)
7. 担当医	1,489	(34.9%)	167	(3.9%)	16	(0.4%)
8. 看護師(看護婦)	471	(11.0%)	54	(1.3%)	3	(0.1%)
9. その他の人	102	(2.4%)	8	(0.2%)	1	(0.0%)
a. 病院の相談室など	65	(1.5%)	12	(0.3%)	2	(0.0%)
b. 県や市町村の相談窓口	21	(0.5%)	6	(0.1%)	1	(0.0%)
c. その他の機関	51	(1.2%)	14	(0.3%)	0	—
無回答	792	(18.6%)	792	(18.6%)	792	(18.6%)

	相談できなかった		相手を見つけれなかった	
	実数	(%)	実数	(%)
1. 家族	14	(0.3%)	3	(0.1%)
2. 友人・知人	17	(0.4%)	3	(0.1%)
3. 親戚の人	9	(0.2%)	3	(0.1%)
4. 上司・同僚	9	(0.2%)	1	(0.0%)
5. 入院中に知り合った同病者	10	(0.2%)	3	(0.1%)
6. 患者会・自助グループ	11	(0.3%)	8	(0.2%)
7. 担当医	33	(0.8%)	5	(0.1%)
8. 看護師(看護婦)	9	(0.2%)	2	(0.0%)
9. その他の人	1	(0.0%)	6	(0.1%)
a. 病院の相談室など	9	(0.2%)	5	(0.1%)
b. 県や市町村の相談窓口	4	(0.1%)	4	(0.1%)
c. その他の機関	1	(0.0%)	6	(0.1%)
無回答	792	(18.6%)	792	(18.6%)

【c 現在】

相談の有無	実数	(%)
1. 誰にも相談しなかった	1,276	(16.3%)
2. 相談しようとした、もしくは相談した	3,526	(45.0%)
無回答	3,035	(38.7%)
計	7,837	(100.0%)

人数=3,526

	悩みが軽減した		悩みが軽減しなかった		相談にのってくれなかった	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
1. 家族	1,840	(52.2%)	236	(6.7%)	6	(0.2%)
2. 友人・知人	826	(23.4%)	96	(2.7%)	1	(0.0%)
3. 親戚の人	466	(13.2%)	61	(1.7%)	5	(0.1%)
4. 上司・同僚	156	(4.4%)	24	(0.7%)	5	(0.1%)
5. 入院中に知り合った同病者	568	(16.1%)	56	(1.6%)	0	—
6. 患者会・自助グループ	196	(5.6%)	15	(0.4%)	0	—
7. 担当医	1,214	(34.4%)	133	(3.8%)	1	(0.0%)
8. 看護師(看護婦)	262	(7.4%)	31	(0.9%)	5	(0.1%)
9. その他の人	87	(2.5%)	9	(0.3%)	0	—
a. 病院の相談室など	38	(1.1%)	9	(0.3%)	1	(0.0%)
b. 県や市町村の相談窓口	22	(0.6%)	6	(0.2%)	3	(0.1%)
c. その他の機関	49	(1.4%)	16	(0.5%)	1	(0.0%)
無回答	692	(19.6%)	692	(19.6%)	692	(19.6%)

	相談できなかった		相手を見つけられなかった	
	実数	(%)	実数	(%)
1. 家族	17	(0.5%)	3	(0.1%)
2. 友人・知人	13	(0.4%)	3	(0.1%)
3. 親戚の人	8	(0.2%)	1	(0.0%)
4. 上司・同僚	3	(0.1%)	4	(0.1%)
5. 入院中に知り合った同病者	4	(0.1%)	2	(0.1%)
6. 患者会・自助グループ	8	(0.2%)	4	(0.1%)
7. 担当医	31	(0.9%)	7	(0.2%)
8. 看護師(看護婦)	7	(0.2%)	0	—
9. その他の人	0	—	9	(0.3%)
a. 病院の相談室など	9	(0.3%)	8	(0.2%)
b. 県や市町村の相談窓口	4	(0.1%)	5	(0.1%)
c. その他の機関	3	(0.1%)	10	(0.3%)
無回答	692	(19.6%)	692	(19.6%)

2 / 3 の患者が、悩みを軽減するために誰かに相談している。

「診断された頃」、「診断から現在に至るまでの間」、「現在」の三つの時点に分け、相談して
悩みが軽減した相手を探ると、三時点とも家族、担当医、友人・知人の順となっ

問 10 あなたがかつて抱えた悩み、また現在抱えている悩みを少しでも和らげるために、何が必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

支援要望分類	人数=7,837	
	実数	(%)
1. 医療者との関係	1,469	(18.7%)
2. 相談・心のケア	885	(11.3%)
3. 医療費等経済面での制度・支援	416	(5.3%)
4. 情報提供・情報公開	470	(6.0%)
5. 同病者との交流・患者会	636	(8.1%)
6. 自身の努力による解決	1,432	(18.3%)
7. 家族の協力・理解・支え	648	(8.3%)
8. 友人の協力・理解・支え	204	(2.6%)
9. 行政・医療機関への要望	514	(6.6%)
10. 医学の進歩	252	(3.2%)
11. 宗教	70	(0.9%)
12. 就職・職場環境	46	(0.6%)
13. その他	154	(2.0%)
無回答	2,940	(37.5%)

第一位は、「医療者との関係」であるが、ほぼ同数で、「自身の努力による解決」が並ぶ。さらに、「相談・心のケア」、「家族の協力・理解・支え」、「同病者との交流・患者会」、「行政・医療機関への要望」、「情報提供・情報公開」が小差で続く。

問11 あなたの生年月を教えてください。(年代別)

年齢	実数	(%)
1. 20代	45	(0.6%)
2. 30代	258	(3.3%)
3. 40代	802	(10.2%)
4. 50代	1,809	(23.1%)
5. 60代	2,395	(30.6%)
6. 70代	2,073	(26.5%)
7. 80代	272	(3.5%)
8. 90代	6	(0.1%)
無回答	177	(2.3%)
計	7,837	(100.0%)

診断時点での年齢を反映して、現在の年齢分布が、40歳以上 93.9%、50歳以上 83.6%である。

問12 あなたの性別を教えてください。

性別	実数	(%)
1. 男性	3,531	(45.1%)
2. 女性	4,220	(53.8%)
無回答	86	(1.1%)
計	7,837	(100.0%)

問 13 あなたのご家族について教えてください。

付問 13-1 あなたは現在、結婚していらっしゃいますか。当てはまるものに 1つ ○をつけてください。

婚姻	実数	(%)
1.未婚	429	(5.5%)
2.既婚	6,252	(79.8%)
3.離死別	1011	(12.9%)
無回答	145	(1.9%)
計	7,837	(100.0%)

付問 13-2 あなたは現在、どなたと同居されていますか。あなたから見た続柄について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

人数=7,837

同居	実数	(%)
1.同居者なし	658	(8.4%)
2.配偶者(夫または妻)	6,040	(77.1%)
3.あなたの父	239	(3.0%)
4.あなたの母	603	(7.7%)
5.配偶者の父	166	(2.1%)
6.配偶者の母	367	(4.7%)
7.あなたの兄弟姉妹	173	(2.2%)
8.配偶者の兄弟姉妹	27	(0.3%)
9.子ども	3,667	(46.8%)
10.子どもの配偶者	763	(9.7%)
11.孫	900	(11.5%)
12.その他の親族	41	(0.5%)
13.その他	24	(0.3%)
無回答	138	(1.8%)

がん体験者で一人暮らしの方が 8.4%と 1 割弱存在している。

付問 13-3 それでは、お子さまがいる方にお聞きします。あなたのお子さまについて当てはまるものを 1つ 選んで○をつけてください。

子どもについて	実数	(%)
1.一番下の子どもがまだ小学校に行っていない	138	(1.8%)
2.一番下の子どもが小学生か中学生である	417	(5.3%)
3.一番下の子どもが高校生である	228	(2.9%)
4.子どもはみな高校は卒業しているが、大学、短大、専門学校等に行っている子どもがいる	401	(5.1%)
5.子どもはみな就職または結婚して独立している	5,023	(64.1%)
6.就職していない、あるいは結婚していない子どもがいる	268	(3.4%)
7.その他	33	(0.4%)
無回答	1,329	(17.0%)
計	7,837	(100.0%)

「子どもはみな就職または結婚して独立している」人は 64.1%である。
 子どもが未就学、小中学校、高校、大学等に在学中で、親にとって経済的な負担となっている割合は 15.1%である。

問 14 あなたのお仕事についてお聞かせください。

付問 14-1 がんと診断された時点と現在の仕事は、大きく分けて下表のどれに該当しますか。

診断時点の職業			現在の職業		
職業	実数	(%)	職業	実数	(%)
1. 自営業主	390	(5.0%)	1. 自営業主	291	(3.7%)
2. 単独事業者	372	(4.7%)	2. 単独事業者	306	(3.9%)
3. 家族従業者	297	(3.8%)	3. 家族従業者	238	(3.0%)
4. 経営者、役員	291	(3.7%)	4. 経営者、役員	202	(2.6%)
5. 民間企業の従業者	1,335	(17.0%)	5. 民間企業の従業者	749	(9.6%)
6. 公務員	372	(4.7%)	6. 公務員	251	(3.2%)
7. パート・アルバイト	798	(10.2%)	7. パート・アルバイト	532	(6.8%)
8. 内職	40	(0.5%)	8. 内職	29	(0.4%)
9. 専業主婦	1,135	(14.5%)	9. 専業主婦	1,435	(18.3%)
10. 学生	14	(0.2%)	10. 学生	5	(0.1%)
11. 無職	1,171	(14.9%)	11. 無職	2,158	(27.5%)
12. その他	140	(1.8%)	12. その他	122	(1.6%)
無回答	1,482	(18.9%)	無回答	1,519	(19.4%)
計	7,837	(100.0%)	計	7,837	(100.0%)

回答者の約半数が 50 代、60 代といった退職年代にあたっていることから、「無職」や「専業主婦」が増加している。

付問 14-2 それでは、仕事の内容は、大きく分けて下表のどれに該当しますか。

診断時点の仕事の内容			現在の仕事の内容		
仕事内容	実数	(%)	仕事内容	実数	(%)
1. 農林漁業	216	(2.8%)	1. 農林漁業	171	(2.2%)
2. 運輸・通信・保安職	186	(2.4%)	2. 運輸・通信・保安職	116	(1.5%)
3. 生産工程作業従事者	572	(7.3%)	3. 生産工程作業従事者	319	(4.1%)
4. サービス従事者	361	(4.6%)	4. サービス従事者	222	(2.8%)
5. 販売的職業	610	(7.8%)	5. 販売的職業	408	(5.2%)
6. 事務的職業	676	(8.6%)	6. 事務的職業	468	(6.0%)
7. 管理的職業	475	(6.1%)	7. 管理的職業	296	(3.8%)
8. 専門的職業	483	(6.2%)	8. 専門的職業	382	(4.9%)
9. その他	274	(3.5%)	9. その他	224	(2.9%)
無回答	3,984	(50.8%)	無回答	5,231	(66.7%)
計	7,837	(100.0%)	計	7,837	(100.0%)

付問 14-3 診断時点にお勤めしていた会社や営んでいた事業等について、下記のいずれかを選択して当てはまるものに1つ〇をつけてください。

お勤めの方	実数	(%)	自営、単独、家族従業者	実数	(%)
1. 現在も勤務している	1,249	(47.6%)	1. 現在も営業中である	694	(68.0%)
2. 休職中である	229	(8.7%)	2. 休業中である	79	(7.7%)
3. 依願退職した	799	(30.5%)	3. 従事していない	58	(5.7%)
4. 解雇された	111	(4.2%)	4. 廃業した	135	(13.2%)
5. その他	237	(9.0%)	5. 代替わりした	41	(4.0%)
回答者計	2,625	(100.0%)	6. その他	14	(1.4%)
			回答者計	1,021	(100.0%)

※ ここでは、回答者数を母数として割合を示している。

付問 14-3 へは 3,646 人が回答している。そのうち「お勤めの方」の欄へ回答した人は 2,625 人、「自営業、単独事業者、家族従業者の方」の欄へ回答した人は 1,021 人であった。がんにかかったことが直接の原因になっているかどうかは特定できないが、「お勤めの方」の 34.7%が“依願退職”あるいは“解雇”となっている。また、自営業等の 30.7%が“休業”、“従事していない”、“廃業”、“代替わり”の状態となっていることから、がん罹患が職業の継続に影響を与えているものと推測される。

問 15 過去一年間のお宅の収入は税込みでどれくらいでしょうか。(年金や家族などからの仕送りを含む)。

収入	実数	(%)
1. 120万円未満	448	(5.7%)
2. 120～300万円未満	1,743	(22.2%)
3. 300～400万円未満	1,300	(16.6%)
4. 400～500万円未満	800	(10.2%)
5. 500～600万円未満	612	(7.8%)
6. 600～800万円未満	810	(10.3%)
7. 800～1,000万円未満	586	(7.5%)
8. 1,000～2,000万円未満	549	(7.0%)
9. 2,000万円以上	89	(1.1%)
無回答	900	(11.5%)
計	7,837	(100.0%)

年収は、400 万円未満が 44.5%を占める。がん体験者の多くは定年退職前後の発症であり、年金生活者が多いことがその理由と考えられる。

<参考> 年代別収入の状況

収入	1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代	6. 70代	7. 80代	8. 90代	無回答	総計
1. 120 万円未満	7	16	25	75	135	145	28	—	17	448
2. 120～300 万円未満	14	28	75	237	707	578	69	1	34	1,743
3. 300～400 万円未満	7	31	61	178	486	462	55	—	20	1,300
4. 400～500 万円未満	5	45	68	157	237	248	28	—	12	800
5. 500～600 万円未満	3	36	83	174	171	124	11	—	10	612
6. 600～800 万円未満	3	36	184	284	176	100	11	—	16	810
7. 800～1,000 万円未満	1	17	116	275	111	54	5	1	6	586
8. 1,000～2,000 万円未満	2	13	110	231	102	75	9	—	7	549
9. 2,000 万円以上	—	1	14	34	24	15	—	—	1	89
無回答	3	35	66	164	246	272	56	4	54	900
計	45	258	802	1,809	2,395	2,073	272	6	177	7,837

問 16 A. 医療機関へ支払った金額はどのくらいでしょうか。

医療機関への支払総額	実数	(%)
1. 50万円未満	3,688	(47.1%)
2. 50～100万円未満	892	(11.4%)
3. 100～150万円未満	318	(4.1%)
4. 150～200万円未満	131	(1.7%)
5. 200～250万円未満	52	(0.7%)
6. 250～300万円未満	36	(0.5%)
7. 300～350万円未満	26	(0.3%)
8. 350～400万円未満	4	(0.1%)
9. 400～450万円未満	4	(0.1%)
10. 450～500万円未満	2	(0.0%)
11. 500～550万円未満	3	(0.0%)
12. 550～600万円未満	2	(0.0%)
13. 600～650万円未満	4	(0.1%)
14. 650～700万円未満	1	(0.0%)
15. 700～750万円未満	2	(0.0%)
17. 800～850万円未満	2	(0.0%)
18. 850～900万円未満	1	(0.0%)
23. 1,100～1,150万円未満	1	(0.0%)
30. 1,450～1,500万円未満	1	(0.0%)
無回答	2,667	(34.0%)
計	7,837	(100.0%)

医療機関へ支払った金額、治療などのために医療機関以外に支払った金額ともに50万円未満が最も多いが、回答者の半数以上が60代以降の定年退職後の年金生活者であることから経済的負担は大きいものと推測される。

問 16 D. 治療や後遺症の軽減のため医療機関以外へ支払った金額はどのくらいでしょうか。

医療機関以外への支払総額	実数	(%)
1. 50万円未満	1,173	(15.0%)
2. 50～100万円未満	177	(2.3%)
3. 100～150万円未満	81	(1.0%)
4. 150～200万円未満	34	(0.4%)
5. 200～250万円未満	22	(0.3%)
6. 250～300万円未満	3	(0.0%)
7. 300～350万円未満	11	(0.1%)
8. 350～400万円未満	4	(0.1%)
9. 400～450万円未満	2	(0.0%)
12. 550～600万円未満	1	(0.0%)
16. 750～800万円未満	1	(0.0%)
無回答	6,328	(80.7%)
計	7,837	(100.0%)